



国労せんだい

No. 2723
2016年6月25日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

厳しい労働環境の改善を

エルダー職場 課題は交渉窓口

地方本部は5月22日、仙台市内において、「エルダー・嘱託社員交流会」を開催した。

JR東日本およびJR貨物では、60歳定年退職を迎える、一部社員を除き、「原則出向」となるが、労働条件は低下し、さらに賃金は激減する。また駅の業務委託化などによる若年出向も激増している。

地方本部はこうした課題の問題点を集約し、改善に向けた取組みにつなげる方針だ。

集会は中島副委員長の司会で開かれ、主催者を代表し大沼委員長は、地方本部が抱える課題と取組等について述べた。

続いて、東日本本部佐藤書記長が提起を行った。概要は以下のとおり。

春闘では、バス東北のみ回答がない状況。

組織強化・拡大は昨年の大会から25人の拡大。新規採用者の2人。平成採の拡大が続くが、幅広い年齢層の組織化が求められる。

01年の設備、07年駅、12年検修、業務委託等の施策が矢継ぎ早に。G経営構想以降さらに加速。総額人件費抑制の徹底。

貨物もH28年度鉄道部門の黒字化に向けた効率化施策。

15年設備メンテナンスの検証交渉。夜勤月10回、年120回で仕切ったがながい。JRからの出向者の社員管理の立場からG会社に物を申すことが大事。

2年前、ジェスと労使間の取り扱いに関する協約締結。5月11日に労働条件をはじめ要求書を提出。

ジェスは多くが未組織。職場問題は自己解決の状況。組織拡大・労働条件の改善に向け取組みを強める。

労働契約法20条。同一賃金同一労働。定年後の賃金格差解消に希望となる東京地裁判決の記事。定年後再雇用となったトラック運転手だが、我々にも大きく影響する問題。会社は本社経営でも触れたが「法的に何ら問題ない」というスタンス。会社の考えを質すため、経協ではなく回交で求めていく。6月25日、拡大弁護団勉強会を企画しておりそこで検討していく。

ただ賃金だけでなく、労働条件があまりにも劣悪であり、また制度の不備を改善させることが重要である。

輸送の安全が脅かされている。事故が後を絶たない。利用者の不信と不安。本体とG会社合わせどう改善を図ることができるのか。

労働組合としてのチエック機能を果たすこと。

労働条件に関する協約改訂の取組み。協約改訂の交渉3回終了。付帯する青年部・女性部の要求交渉を進めている。

会社も女性部や青年部の考え等について聞く耳を持っている。労働運動の継承もしていく。

制度に関する要求の交渉では、65歳までJR本体で働かせることを要求。組合は「受け入れ先がない」「遠距離通勤を強いられ泣く泣く退職」など、エルダー制度自体の見直しの必要があると指摘している。

5・26	第1回選挙管理委員会
5・30	清藤弁護士に感謝する会
6・8	第2回選挙管理委員会
6・5	第13回職場活動家交流会(茨城)
6・5	第10回全国組対会議(箱根)
6・5	東日本組織部長会議
6・11	

続いて仙台地本千葉組織部長が、地方の抱える課題と取組み等について提起し、その後の職場実態交流では、厳しいエルダー職場環境と改善の取組みの強化を促す意見が多く出された。

宮城県支部 山田書記長

早急に窓口作りをエルダー制度。2月退職で2月提示。また新年度になってもまだ提示のない組合員も。制度自体破綻している。本人は不安な日々を過ごしている。

東京地裁判決。本部として早急に会社と交渉を。既に退職した人も賃金戻りの期待もある。

同じ仕事で半額以下ではだれが考えてもおかしい。裁判も視野に入れた取組を要請する。

貨物で契約社員の67歳の仲間が加入。一年毎の契約更新に不安を持ち加入。口ジステイクスとの交渉の場を確立すること。

現在出向中。制服が間に合わない、サイズ違い、基本以前の問題。

自分の職場の勤務が月に1〜2回、他は別職場の出勤、営業経験がないのに数回の見習いでさせられるなど問題が多い。

研修等の場で改善を求め発言しているが進展なし。地本も交渉窓口作りに向けさらに努力を。

テクノサービス

腹を据えた提起を郡山テクノ。若松から郡山に通勤。昨年有志で組織を立ち上げ年4回の交流会を開催。開催する月の第二月曜日を交流会日に指定。およそ12〜13人。

職場状況。プロパー社員の契約で所長が用紙を投げつけるという事象。

中ホームの水道が止められた。しかしウォーターサーバーを設置させた。

三春駅が委託。大越駅が無人化。異動の玉突き。

窓口長蛇の列。何時間も着座で販売。船引駅、日勤勤務になり、車いす対応を求められる。

委託業務内容、グレーゾーンが多く、委託されていない業務もさせられる。

5回の交流。愚痴を聞き仲間の結びつきを強めているが、問題が上積みされていくだけ。どのように解決していくのか具体的な道筋を提示することが必要。

エルダー5年。その後どう仲間と関わるのか課題。苦勞してきたプロパーの方と我々の意識は雲泥の差。

組合費五百円払えるのか、見合った運動ができるのか。一日4万歩歩く。プラック企業で、ハローワークで斡旋不可。チラシで応募者が来ても半日で辞めていく。そうした職場に労働組合の旗を掲げるのであれば腹を据えた取組を。大國労のよきな提起では的外れ。

ある仲間。郡山駅から退職まで数年で地元に戻ったが、職場がなくなるとまた郡山。辞めるか悩むが生活があるから辞められない。

一方で、他労組では関連会社に58歳で早期出向、65歳まで7年間安泰という方。こうした差別を見せつけられている。エルダー廃止等、退職年齢延長の闘いに力を入れるべき。

東日本本部で交渉しているというが、関連会社にまったく響いていない。

6・12	仙台地本組織対策会議
6・13	第10回地本執行委員会
6・18	安プロ・各支部委員長合同会議
6・22	第3回地本選管(開票)
6・25	乗務員勤務プロジェクト会議
6・25	アスベスト対策会議

組合費五百円払えるのか、見合った運動ができるのか。一日4万歩歩く。プラック企業で、ハローワークで斡旋不可。チラシで応募者が来ても半日で辞めていく。そうした職場に労働組合の旗を掲げるのであれば腹を据えた取組を。大國労のよきな提起では的外れ。

ある仲間。郡山駅から退職まで数年で地元に戻ったが、職場がなくなるとまた郡山。辞めるか悩むが生活があるから辞められない。

一方で、他労組では関連会社に58歳で早期出向、65歳まで7年間安泰という方。こうした差別を見せつけられている。エルダー廃止等、退職年齢延長の闘いに力を入れるべき。

東日本本部で交渉しているというが、関連会社にまったく響いていない。

仙総所支部 渡辺執行委員

不十分だが一部改善

支部エルダー担当。要求は集約しているが、改善に結びついていない状況。

団交とJR職場やエルダー先の現場長と話し、また労安で他労組を通じ、話してもらい、十分ではないが、暗い場所へのスポットライト、転落防止のロープが張られるなど改善された部分もある。

要求はエルダーだけでなく、プロパー、パートの方の意見も集約している。我々の話にも耳を傾けてくれる。

支部はエルダー・嘱託社員の激励会を毎年開催してきたが、昨年は大雨で中止。昨年9月と10月に2回、会社毎に集まり意見交換を実施。会社毎だと多くの意見が集約され、収穫も多い。今年も激励会と合わせ、交流会も実施し、少しでも改善に繋げたい。

東北総合サービス

業務委託化に歯止めを

仙台駅の現状。みどりの窓口を委託の提案があり、TSSから数人見習いがきた。分会は委託反対、出向反対で意思統一。支部と相談し労基署に相談。

現在は、「本社から委託実施のGOが出ない」と止まっているが、白紙になるのかわからない状況。

昨年新幹線南口改札が委託になり、何人が出向。

一方でTSS社員がみどりの窓口へ逆出向はおかしいという声。

あおば通り駅。乗り継ぎ改札口を遠隔にするという事で支社等が現場調査。

4〜5年前、融合化でびゅう窓口と一緒にだったが、今度は子会社化するので仕切りを付けるという話。何を見据えてやっているのか。仙台駅、あおば通の2箇所を含め現在10の窓口があるが6箇所は委託。駅内でTSS社員と一緒に働く場合、異常時の対応が難しい場面も。

社員窓口を残さないと中間駅の対応も含め大変。今後どうなるのか不安で仕方ない。

テクノサービス

過酷な業務と低賃金

テクノ仙台東。低賃金でパート時給730円、準社員日給5千800円、社員12

ベテラン選手がみ合う

5月26〜27日、第15回国労東日本本部軟式野球大会が大井ふ頭海浜公園内で開催されました。

仙台地本チームは前回大会で怪我人を二人（救急車で搬送！）を出しつつも準優勝であり、今年こそは悲願の優勝を勝ち取るべく、ユニフォームを新調し、体調・体力万全で臨みました。

しかも今回は、昨年国労加入した、宮城県支部小牛田駅連合分会の門間純平君と協力会社からの助っ人1人が参入し、ベ

万8千円、自分は15万5千円+調整給2万9千円で合計18万4千円。テクノが出向社員に対しJRに上納する金額は一人28万円。自分の賃金と年金や健康保険を計算しても22万円未滿。残りの金はどこへ消えるか。

テクノ仙台東営業所の所長等は年俸制で1千万円超。この辺も追求しないとエルダー社員やプロパーの賃金も上がらない。

業務内容。清掃業務は5つに別れ、日常業務は60車両前後の清掃。女性は1〜2日で辞めていく。自分もその業務の翌日は腕が上がらない。

車両床のコーティング業務。コーティング時に人体

テクノと若手がみ合う絶好の布陣となりました。予選一試合目は強豪千葉地本。先行の仙台は若手の活躍で先制点。一方、先発の大倉投手はあわやノーヒットの完封で4対0で快勝。

続く予選二試合目は水戸地本。絶対調の大倉投手を連投起用した落合監督の采配があたり、12対4で圧勝。門間君を温存し、決勝リーグに大きな期待をかけたが、翌日はあいにくの雨で試合は中止に。抽選の結果またも準優勝に涙を飲んだ仙台チームでした。【昌】

に有害なガスが発生。九州ハイテックという会社が施工していたが、ジェイテック社員を見習いに付け、将来は直轄施工する計画。ガスマスクを使用するようだが、有害な作業でもあり調査を要請したい。またこの見習い実習は偽装請負では。

東北総合サービス

労働条件変えないと

TSS本宮駅。昨年、須賀川駅から本宮駅に現役出向。実はビジネスえきねつとの仮契約であった。「エルダーになるまで」という約束だったが反故に。一方で、ビジネスには何人か新たに入っている。自

惜しくも優勝逃す！



後一步で優勝メダルだったが...次回頑張ろう！

分には何の話もない。プロパーアンケート。低賃金だ。特殊勤務手当一切付かない。本人たちは意見が言いづらく、我々が少しづつ意見を代弁。

冬期間接客コートがなくJRのものを使用。サイズの違いもある。酷い話だが、一方で我々がミスするどんな扱いになるか。

職場は一人勤務。気象が悪いと非常に忙しく神経が磨り減る。60過ぎでお客様に怒られる。休憩時間モトアをたたかれ、券売機のボタンを押される。体も神経も休まらない。

テクノサービス

職場環境変えたが

テクノ福島駅。支部情報「雑草」参照。職場7人の要望としてCSカードに書いて提出。涼しい環境で作業できてよかったが、今までの先輩方の対処は？。交流会は継続したい。不平不満は出る。その改善はどうするのか課題。

プロパー社員、時給は今年7円上がって744円。よくやっているが、体もかなり参っている。社員契約は、所長によって扱いが違う。夜勤できない女子が、夜勤できる契約に。簡単にハンコを押すなどと言え、自分はおと数年で居なくなるため、どこまで関わりを持ってよいのか悩む。すり減ったワイシャツを着て仕事をやっている。

交渉しダイヤ変更

テクノ郡山駅。ダイヤ改正で車両清掃がなくなり、その代替えで何をさせるのか、新しい作業ダイヤが写真のうちの見せると言ったが、我々の意向を聞かずに出来上がったものを提示。50分、一時間とか細切れの間合いに内容の濃い作業を入れられた。主張し我々の要望が通ったが、「まあいいか」と流すとキツイ作業を押し付けられる。

国労が入ってこなければ、また悪くなる懸念される。退職した先輩に言われたのは「最初の一年はいいが、年を重ねる度きつくなる。最後の一年はしんどい」と。不満。特休が62から53。会社間でも数が違う。是正をしてもらいたい。

東北総合サービス

手当なく働かされる

TSS東照宮駅。雇用継続、どうなるか。駅で延長したのは国労では自分が初。北仙台も委託の噂。直轄は愛子だけになるのでは。賃金、13万3千円+手当で17万程度。手取り15万弱。手当は夜勤だけ。仙山線は頻りに列車遅延で1人勤務は大変。

プロパー社員は金が安い。手当が全く付かない。せめて手当くらいは。交渉単位をどうするのか。組織を作らないと仕方ない。

劣悪・危険な作業環境

TSS榴ヶ岡駅。11月で65歳。雇用継続の話はある。4月1日から管理駅変更になり、多賀城、松島海岸、石巻の3駅（仙山線63駅）。3月末でも管理駅変更の話がなく、鉄道事業部に要望書をFAXした。直接返答はなく、JRとTSSの交渉経過がFAXで返信。職環要求も回答なし。

仙台駅内に仙台地区センターというTSSの業務部を設置。作業終了報告もFAX、業務指導もなし。線路内遺失物を線路に入つて取ったということで大変な問題に。現場の判断に任されているのが実態。いずれは線路に入つて取らせるといふ方向だが、運転適性検査をしたのは過去の話。我々は経験者だが経験のないものにやらせるのは重大な問題。

自分は基本給15万5千円で手取り14万弱。プロパーは大学出て13万の基本給手取り10万弱。アパート代めやと食っている。辞めようにも簡単にはいれない。TSS社員募集ポスターはJR社員の募集のようだ。TSSと労組のテコ入れで互助会作りをしており、組合作りの第一歩か。

一方で、我々は若者を国労に入れて、その後どう関わり支えていくのが不安だ。若手に関わっているが、誰にどのように引き継ぐのか。

退職のお知らせ

5月31日付

柳沼 良充さん
郡山駅連
(TSS郡山)

氏家 巨さん
仙総台車(退職)

相沢 祐二さん
仙台電車区
(Jテック仙台東)

菅野 等さん
仙石線駅連
(TSS国見)

西大條 克彦さん
小牛田駅連
(TSS国府多賀城)

熊谷 司さん
小牛田駅連
(TSS田尻)

千尋 文弘さん
仙宮運輸区(退職)

加藤 宏さん
仙総車体
(JRTM)

エルダー退職

三品 秀博さん
仙総運輸
(東北工機整備)

長い間お疲れ様でした

仲間の異動

6月1日付(出向)

杉山 靖男さん
山形駅

テクノ米沢営業センター